

アンケート

市連合婦人会169名



明るい選挙について

□あなたはいつも投票に行きますか。

- ①必ず行く——96% (162名)
- ②時々行く——4% (7名)

□どんな方法で候補者を選びますか。

- ①党で選ぶ——19% (32名)
- ②人柄で選ぶ——81% (137名)
- ③人に頼まれて投票する——0%

□あなたは次のことについて知っていますか。

『お祭りや敬老会、集会などへの寄付』『開店祝いの花輪を贈ること』『結婚や入学などのお祝い品やお金を贈ること』『葬式の香典や供花、花輪を贈ること』『団体旅行などへの寄付』『お歳暮やお中元を贈ること』などを政治家や候補者がすること。また、私たちが政治家や候補者にわたることは選挙違反になります。

- ①知っている——85% (143名)
- ②知らなかった——15% (25名)

□あなたは一度でもお金で投票を頼まれたことがありますか。

- ①はい——3.6% (6名)
- △お金は返した——3% (5名)
- △お金はもらった——0.6% (1名)
- ②いいえ——96% (159名)

□南国市の市議会議員の選挙にも買収行為(金品の授受)などがあったと思いますか。

- ①はい——61% (89名)
- ②いいえ——34% (49名)
- ③わからない——5% (7名)

市政に関する意見や要望は、広い範囲から質問があり、関係者らが答弁しました。
問：心から市民のためになる市政をやしてほしい。そのためには市議会議員が選挙の時だけでなく、地区民とよく話し合っている土地の真の表情を知ってほしい。
議長：市議会議員が選挙の時

△新調できる人はいいが、できない人は成人式に出席するのがいやな気持ちになると思います。
△市の呼びかけはよいことだと思います。一年で終わることなく、長続きするよう運動してほしい。
問：議会の日程や議題などについて、前もって広報などで知らせてほしい。
議長：議会が招集されるのは開

会の一週間前です。議会の日程は開会前日の議会運営委員会で決まります。ですから、月二回発行の広報でそれをお知らせするのは無理です。地元議員に知らせてもらっては。また、新聞で議会開会当日に日程がわかるようになっていきます。
問：比江山の市有地十段が九億円で木材団地に売却が決まったのを新聞紙上でみましたが、それについてお聞きしたいと思えます。今後の財政再建についてもお聞きしたいと思えます。
市長：比江山の市有地売却は十五億円を計画していましたが、今回は九億円相当分の売却処分となりました。残り六億円分は徐々に

解消していきたいと思えます。財政再建は十年計画を考えています。
問：比江山の市有地売却処分については、地元との話し合いは全くなされていませんが、今後地元と話し合いをする予定はありますか。
市長：県と木材団地との間で話がつまっていますので、いずれは処分の方でご相談をし、ご了解をいただきたい。
問：市立図書館の建設の予定は。
教育長：図書館建設は新築では財政上困難ですので、古い建物を改装するという構想でやっています。
問：南国市は他の市に比べて

税金が高いと思えます。何とか他市並みにできないものでしょうか。
事務課長：五十一年度は市民税を引き上げ、県下最高でした。五十四年度からは軽減して、県下九市平均にしたいと考えています。
問：昼食時間の窓口事務をしてもらいたいですか。
市民課長：これは勤務時間の問題であり、労使間で協議したいと思います。
その他に、市政への意見や要望事項が次のとおり出されました。
△空港周辺の整備対策を強力にお願いしたい。
△公害のない企業の誘致を。
△生ゴミの処理を自宅で行うことができるよう指導すべきである。
△夜間の道路照明を増やしてほしい。
△市営グラウンドを作してほしい。
△同和教育に積極的に取り組むことが必要と思う。
△南国市にも普通高校の設置をのぞむ。
△各課の窓口には、親切で説明のできる人を配置してほしい。
△失業者の救済対策をのぞむ。
△顕石——後免間のラッシュ対策を早急にたてよ。
△市民の率直な意見が市政に反映できる窓口がほしい。

第18回婦人会市政会議

婦人の市政に対する要望や日頃学習したことを、市政に反映させていこう——と、市連合婦人会恒例の『第18回市政会議』が、1月31日、市役所に婦人代表約70人を集めて開かれました。

今回は、市議会議員30人を招待し、「明るい選挙」、「無駄をなくする運動」、「成人式の服装」について意見を聞きました。また、「市政について、約60項目の意見や要望が出され、熱心な討議が行われました。



恒例となっている市連合婦人会(浜田弥芳会長)の市政会議は、今年で十八回目。当日は小笠原市長、吉本・国沢両助役、全課長らが出席しましたが、今回は例年と趣向をかえて、市議会議員三十人を招待して行われました。
まず、「明るい選挙について」のアンケート(左表)を示しながら、各議員の意見を聴きました。市議会議員の選挙でも「買収行為(金品の授受)があったと思う」という意見が六一割もあったことから、また今年秋には市議会議員の選挙もあることから、活発な意見交換となりました。

明るい選挙などで意見交換 成人式の晴着も話題に

見交換となりました。
問：市議会議員の選挙でも買収行為があったと思うという意見が六一割、八十九名いるということについてどう考えますか。
議員：六一割の高い割合にはびっくりしています。しかし、法定選挙費用の範囲内のもので買収ととられては困ります。金品での買収は許されるべきことではなく、あるべきことではないと思えます。
問：現在問題となっている宿毛市長選挙違反事件についてどう考えますか。
議員：事件は捜査段階なのではつきりしたことは言えません。事件は新聞等で知れるのみですが、市民のモラルが低いのでは。因襲などにとらわれて選挙が行われている感じがします。
議員：地域性の問題だと思えます。議会は市長に辞任勧告ではなく、不信任でのぞむべきです。市民の声を反映させて、もっと毅然とした態度を示すべきだと思います。
議員：南国市では、そのような

ことが今後あつてはなりません。市民の監視、一人ひとりのモラルが大切だと思います。
お返し廃止
婦人会の大きな「看板」である「無駄をなくする運動」については、長年とりあげてきているものの依然変わらぬ状態で、その原因や対策について意見を聴きました。
議員：無駄をなくする運動(お返し廃止)については、引き出物のみの問題でなく、結婚式の簡素化も問題だと思えます。また、南国市内だけでなく、県下の問題でもあるので、県下の運動が必要だと思えます。
議員：婦人会のアンケートの中でも、お返し廃止運動は「止めたほうがよい」という意見が二五割もあるが、これで行くという統一したものが婦人会にはほしい。方針をきちんと決めてやるべきです。運動が盛りあがるかどうかは、婦人一人ひとりの積み重ねだと思

えます。
成人式では
年ごとに派手になっている「成人式の服装」について、昨年は成人該当者に対して、六月と十二月の二回にわたって、晴着を新調することなく平服で、と呼びかけましたがこのことについて。
議員：宿毛市はこの点では平服の成人式であり、素晴らしい。一番しっかりしてもらいたいのは母親であり、困るのは(財政的に)父親です。教育委員会は青年団活動の中で指導してはどうでしょうか。
その他、婦人の意見としては、
△自分の子供の成人式には、きれいに着せたいと思うのは、親の気持ちではないでしょうか。
△一通り揃えるとお百万円ほどかかり、二・三回も着ればあとは着ないのもったいない。
△母親の改装をする必要があると思えます。
△晴着は無駄。その費用を修繕面にむけるべきだと思います。
△職場の制服で参加している姿は